

## ノーチラス EVO シリーズのウェイトスタック、米特許を取得

バージニア州 インディペンデンス 2014 年 4 月 14 日

ヨーガン・コプフ(メドフィット・システムズおよびノーチラス・コマーシャルの副社長)は、ノーチラス EVO シリーズおよび NOVA シリーズで使用されているウェイトスタックが米国特許庁より特許(8585564)を取得したことを発表しました。

コプフ氏は次のように述べています。「この技術により、アドオンウェイトをなくし、ノーチラス独自の特殊なウェイトピンを利用して、2.2kg ずつウェイトを増やすことができるようになりました。この進歩は、ノーチラスマシンのユーザーに対して3つのことを意味します。まず、マシン動作がよりスムーズになります。これは、ノーチラスマシンの使い心地を表す鍵となる摩擦の低下を意味します。高級車のドアを閉める感触が安物の車とは違うのと同じです。次に、徐々に発達する筋肉に対して小刻みに対応する事ができます。これは、若者やシニアのトレーニング、女性のプログラムやリハビリにとって重要です。最後に、これらの改善により、パーツが減り、構造がシンプルになるので、故障や不具合の発生頻度が大幅に減ります。その結果、お客様のメンテナンスコストが大幅に削減されます。」



特許取得 EVO ウェイトスタック

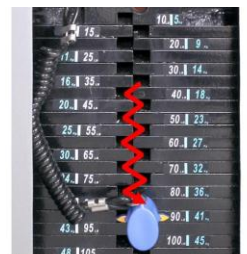
“発明者”としての功績を特許庁に認められているグレゴリー・ウェブ(技術担当副社長)は次のように述べています。「簡単に言うと、我々は薄いプレートのウェイトスタックを開発しましたが、今回の EVO ウェイトスタックはそれよりも薄くしました。この EVO ウェイトスタックは、従来よりも3倍多くのウェイトの選択ができますが、ウェイトスタック全体の高さや重さは従来の物とほぼ同じです。これにより、メインのウェイトスタックの横にあるアドオンウェイトをなくし、一回ピンを挿すだけでウェイトの選択が出来るようになりました。また、アドオンウェイトをなくす事により、その部分の摩擦がなくなりました。このデザインにより、ウェイトタワーが低くなりました。これは、背の高いマシンは視覚的に魅力がないので低いマシンが欲しいという、フィットネスクラブのオーナーや管理者の要求に応じたものです。背の高いマシンは、クラブを運営する上で管理者の視界を妨げます。我々は、クラブ経営者の意見に注意深く耳を傾けています。」

フィットネス、スポーツ、ヘルスケア業界において先見の明のあるウェブ氏は、ノーチラスマシンの設計において主要な役割を果たし、25 種類以上の特許を保持しています。ウェブ氏の取り組みの多くはアーサー・ジョーンズに触発され続け、完璧なエクササイズマシンを作る事を目標としています。彼は次のように述べています。「私たちの基本的な目的は、マシンをより効果的でユーザーが使いやすいものにする事です。それは、ノーチラスのトレーニングプログラムが、世界クラスのアスリートから若者やシニアに至るあらゆる年齢層や目的にも対応しているためです。この特許技術により、1つのウェイトスタックに対して1本のピンで対応するようになったため、全てのユーザーにとって操作が簡単になりました。従来のマシンは、メインのウェイトスタックとアドオンウェイトがあり、それぞれ別のピンを必要とします。我々はこのプロセスを簡素化し、改善しました。ノーチラスブランドの約束を提供するべく、我々は常に努力しています。」



従来のウェイトスタック

ウェイト本体とアドオンウェイトの両方を操作して重さを調節。



EVOのウェイトスタック

1本のピンで、5ポンド(約2.2kg)刻みの細かい調節が可能。

Gregory L. Zink  
CEO, Nautilus Group Japan

＜ノーチラスに関するお問合わせ＞  
株式会社 THINK フィットネス  
フィットネスプロダクツ事業部  
東京都江東区南砂3-3-6  
TEL: 03-3645-9801